

# 環境経営レポート



2025年度版

対象期間:

2025年2月1日～2026年1月31日

# 目 次

(1) 会社概要	3
(2) 環境方針/ EMS(ISO140001)	4
(3) SZ活動について	5
(4) 中小企業SBT認定と2030年までの目標	6
(5) 各機関への活動情報展開	8
(6) 2021年度から2030年度迄の目標実績	9
(7) 2024年度迄の活動と成果について	10
(8) 2025年度の活動と成果について	15
(9) 2050年のカーボンニュートラルを目指して	21

# 会社概要

## 会社情報 Company Info



社名	株式会社三静工業 (SANSEI Industries co.,Ltd.)
設立	1966年2月16日 (昭和41年)
本社・本社工場	〒411-8525 静岡県三島市松本181
	TEL. 055-977-2054 (代)
	FAX. 055-977-6733
函南工場	〒419-0125 静岡県田方郡函南町肥田945-1
	TEL&FAX. 055-978-0877
代表者	代表取締役 向坂政明 (さぎさか まさあき)
従業員数	100名
資本金	4,536万円
主要製品	自動車・工作機械・情報通信機器・電気機器部品のアルミニウム及びマグネシウム鋳造品

## 夢をかたちに・・・ダイカス技術の未来を創造し、 合せて美しい地球環境を守ろうとする精神

- 株式会社三静工業は創業以来、**誠実勤勉、良品多産、責任遂行**を社是として、あらゆる環境規制にも配慮したモノづくりを通し、**ステークホルダーの期待に応える企業**を目指してまいりました。
- この精神は、自然環境や社会、健康、経済等が将来に亘り、今の環境を将来まで続けて行くという、**サステナビリティの精神と共通する理念**であり、**三静工業が目指す将来の姿**です。

# 環境方針/EMS(ISO14001)

## 環境方針

### 環境理念

「サステナブル社会の実現を目指して、美しい地球を守る」

### 環境方針

1. 2030年までにCo2排出量の削減目標を達成する。
2. 製品及びサービスが地球環境に与える影響を計測・評価し削減に努める。
3. 事業活動における環境側面を計量把握し、SCOPE3におけるCo2削減に努める。
4. 環境における法規・規制及び業界の規則を順守する。
5. SCOPE1(ガス、石油類等)からSCOPE2(電化)への転換、更に再生可能エネルギーへの移行を推進する。
6. 廃棄物の削減を目指す。また産業廃棄物処理場への定期的な視察で環境保全状況を定期的に確認する。
7. 河川への排水は常に環境適合した状態を維持し、生態系の保護に努める。
8. 良品率を向上し、適正在庫の把握からCo2排出量の削減に努める。
9. 定期的に環境評価を実施し、環境目標・方針を常に最新の状態に維持継続する。
10. 環境方針をステークホルダーへ周知又は常に入手可能な状態にし、定期的に活動の推進状況を提供する。

当社の環境マネジメントシステムの適用範囲

1. 事業場の範囲  
アルミニウム及びマグネシウムの铸造用金型の設計・開発並びに自動車、工作機械、情報・通信機器、電気機器部品の铸造品及び加工品の製造に係わる事業活動。
2. 施設・人員上の範囲(下記施設・下記施設の業務に従事する社員)  
本社：静岡県 三島市松本 181

2024年10月31日

株式会社 三静工業

代表取締役 向坂政明



eQual<sup>®</sup>  
assurance

### 登録証

この登録証は次に示す組織のマネジメントがEqual Assurance  
によって認証され、下記の規格に適合していることを証します

### 株式会社三静工業本社・工場

静岡県三島市松本 181 〒411-8525

ISO 14001:2015

環境マネジメントシステム

自動車、工作機械、情報・通信機器、電気機器部品のアルミニウム  
及びマグネシウム铸造品の製造に係わる事業活動

  
Robert Capozzi  
BAppSc AdvDipMgt Dip.Bus(GA)  
Assurance Manager  
Equal Assurance

登録番号: RIE001-CREED1  
初回登録日: 2024年1月26日  
認証承認日: 2024年3月28日  
有効期限: 2027年2月19日



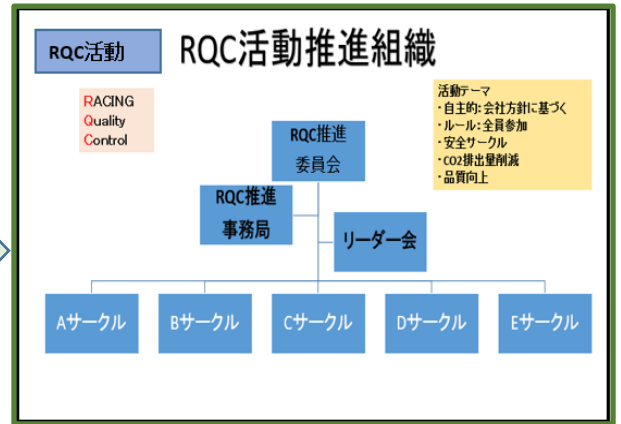
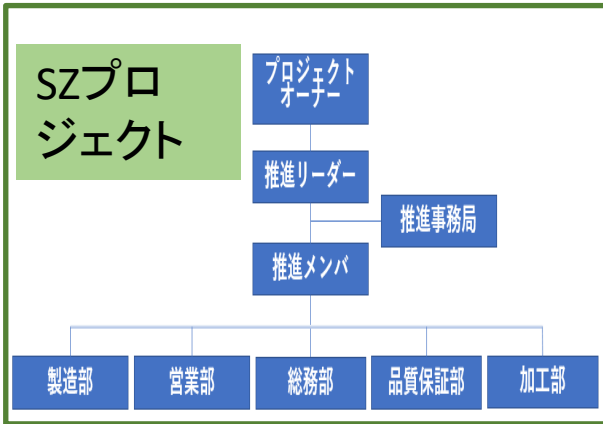
Be confident.<sup>™</sup>  
Equal Assurance Pty Ltd as trustee for the Equal Assurance Trust.  
This Certificate of Registration attests the property of Equal Assurance.  
The purpose of the Certificate is for a translation of the Certificate of Confidence into Japanese.  
The Certificate remains valid only insofar as the related Certificate of Confidence is also valid.  
The related Certificate of Confidence can be reviewed at <https://www.equalassurance.com>  
All contents © Copyright 2015 Equal Assurance. Details at <https://www.equalassurance.com>

環境先進都市 三島市のシンボル鳥:カワセミ



# SZ (sansei zero) 活動

■ SZ活動は小集団活動と共に学びながら脱炭素を目指す活動です。



共働

15回目

Be a Great Small  
中小機構

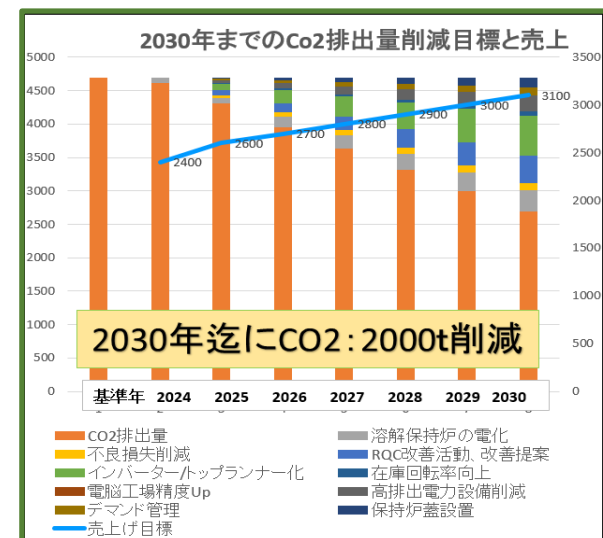
ロードマップ達成に向けた  
**炭素生産性の持続的向上の仕組みの確立**  
～設備毎CO2排出量実測をベースとした取組み～  
**ハンスオン支援**



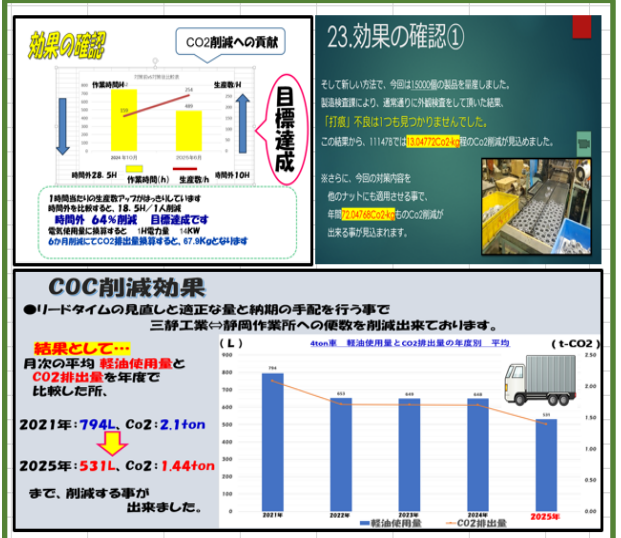
学び

お客様・中小機構様への最終報告

ハンスオン支援活動  
カーボンニュートラルPJ活動  
最終報告会  
日付2024年12月24日  
会社名:株式会社 三静工業



成果



# 中小企業SBT認定と2030年迄の目標①

## SBT認証取得

・SZメンバーの協力で2024年11月12日中小企業SBT認証を受ける。

### 1) 中小企業SBT認定

・取引先の多くがSBTを認定していた。


中小企業SBTはSCOPE1,SCOPE2の策定、目標を決めて、削減計画を考える事で認定されます。

・自分たちで認定の手続きが出来たことは大きな前進でした。

**英語での申請・みんなでchallenge!**

### 2) 中小企業SBT認定までのステップ

- ① SBTのWEBを調べる。
- ② 申請に必要な内容を考える。
- ③ 英語で申請内容を作成する。
- ④ 申請 ⑤ 支払い ⑥ 認定



Wednesday, September 25, 2024

**SBTi SME Eligibility Questions**

The information provided will be used for the assessment of Small and Medium-sized Enterprise (SME) eligibility under the Science Based Targets initiative (SBTi). The SBTi reserves the right to validate or request further documentation to verify eligibility. All submissions are subject to further review and completion of the form does not guarantee eligibility for the SME pathway.

**Approval Status** In Progress

*For scheduled maintenance and system improvements, new submissions for Commitments, Corporate, SME, or Financial Institution targets will be paused from 1 October until 29 October. [Find out more.](#)*

[SME Eligibility Criteria](#)

From 1 January 2024, companies may set targets through the streamlined validation route for SMEs if all criteria points are met:

- Have < 10,000 tCO<sub>2</sub>e across scope 1 and location-based scope 2
- Are not classified in the [Financial Institutions \(FIs\)](#) and [Oil & Gas \(O&G\) Sectors](#).
- Are not required to set targets using sector-specific criteria (such as the Sectoral Decarbonization Approaches) developed by the SBTi (see the SBTi's sector guidance documents for requirements)
- Are not a subsidiary of a parent company whose combined businesses fall into the standard validation route

*And three or more are true:*

Company Name (English)	
item	content
1	Industry : Manufacturing Overview : Since 1966 , we have been designing, manufacturing and processing aluminum die-cast products related to machine tool parts and automotive parts. Business scale : (as of January 2015) March 31, 2024 Company Information Total assets : € 13,895,935 Total annual turnover : € 14,005,909 Number of employees : 79 The exchange rate between the yen and the euro is January 31 By 2024 Euro foreign exchange reference rate : EUR/JPY = 160.19
2	< Scope 1 and 2 reduction targets and reduction efforts > < Scope 1 and 2 reduction targets and reduction efforts > Scope 1 : <a href="#">Transition from city gas to electricity when replacing melting and holding furnaces</a> <span style="color: red;"><b>Target reduction amount: 1287.04 tons (27.36 % reduction)</b></span> Scope 2 : <a href="#">Shortening the cycle time of die-casting machines and processing machines,Reduce the use of large fans and promote company-wide energy conservation activities</a> <span style="color: red;"><b>Target reduction amount: 688.61 tons ( 14.64 % reduction)</b></span> < Scope 3 reduction targets and efforts toward reduction >

# 中小企業SBT認定と2030年迄の目標②



SANSEI Industries co.,Ltd.

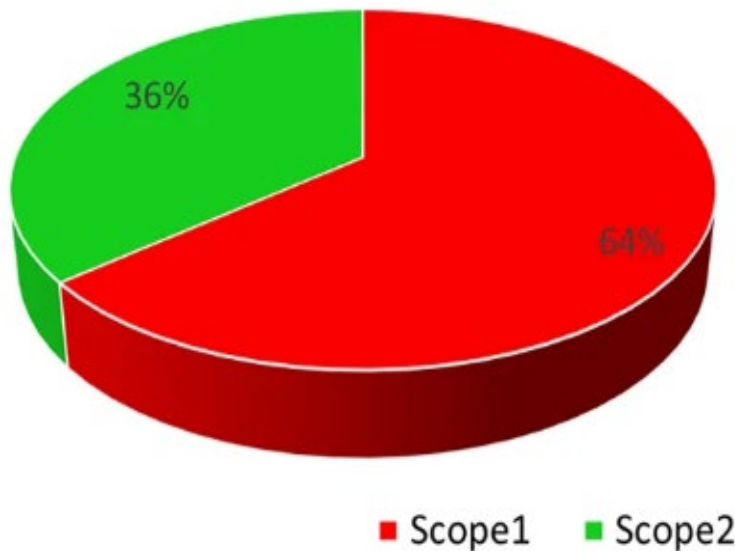
November 12, 2024

WE'VE SET A  
SCIENCE-BASED  
TARGET SME pathway



株式会社三静工業は、ロンドンに本社を置くSBTiより地球温暖化対策として『中小企業SBT認定』を受け、2021年度を基準年度として2030年までに2000tのCO2排出量削減を目指します。

2021年度(基準年度)  
scope1,scope2占有率比較



2021年度、2030年度(目標年度)  
と目標削減量(t-CO2)



# 各機関への活動状況報告

## カーボンニュートラルへの取り組み 気温上昇を1.5℃に抑える中小企業 SBT 認定を取得 - 2030年温室効果ガス削減目標 -

アルミダイカスト部品の製造・販売を行っている株式会社三静工業（静岡県三島市、社長：向坂政明）は、このたび、2030年温室効果ガス削減目標（1.5℃水準）について、SBTi（Science Based Targets Initiative）※1から中小企業 SBT※2の認定を取得しました。

### 株式会社三静工業の取り組み

三静工業は1966年に設立されたダイカストメーカーで、設計から鋳造、加工までを一貫して行っており、エネルギーを多く使うアルミダイカストの製造において、環境に配慮した活動を続けてきました。1986年から特殊ダイカスト（HVSC）技術※3を導入し、鉄鋳物からアルミダイカストに置換えることで、素材の軽量化やCO2排出量削減に着目してきました。2022年には最新鋭の省エネ型サーボモーター制御のHVSCダイカストマシンを導入し、さらなる高品質・短納期化を実現しています。

2004年にはISO14001を取得し、環境負荷が高い水処理関連活動に着手し、従来の循環型の水再利用から2013年には高度な排水処理を実現する施設も設置しました。2024年には、小集団活動のなかでSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みもはじめました。さらに、今回、地球温暖化対策として中小企業 SBT の認定を受け、2021年を基準年として2030年までに2000トンのCO2排出量削減を目指します。

三静工業では温室効果ガスの削減目標達成に向け、将来的には水素をはじめとする新技術の導入の検討を行うとともに、取引先へのCO2排出量削減の提案、協力会社との技術協力と地域のカーボンニュートラルへの取り組みなど、脱炭素社会への移行に積極的に貢献してまいります。

※1 SBTi (Science Based Targets Initiative) は、CDP (カーボンディスクロージャープロジェクト)、WRI (世界資源研究所)、WWF (世界自然保護基金)、UNGC (国連グローバルコンパクト) の4団体が運営するイニシアチブ  
※2 中小企業 SBT は SBTi (Science Based Targets: 科学と整合した目標設定) の中小企業を対象とし、SBTi が認定するバリ協定が求める水準に整合した温室効果ガス排出削減目標  
※3 特殊ダイカスト (HVSC) 技術は、内部品質に特化した鋳造方法で、一般のダイカストと比べてガス量が少なく熱処理が可能なため、機械的性質が高い製品を生み出し、耐圧部品に要求される品質を満足することができる。



### 【会社概要】

社名：株式会社三静工業  
本社所在地：静岡県三島市松本181  
代表取締役社長：向坂政明  
設立：1966年2月  
HP: <https://sansei-ind.com/>

## 持続可能な未来への挑戦！ 株式会社 三静工業

### 中小企業 SBT 認定で新たな一歩

ダイカスト部品メーカーの株式会社三静工業は、1966年の創業以来、設計から鋳造、加工までを一貫して行う高い技術力を誇り、長年にわたり高品質な製品を提供している。同社は2024年、静岡県内でも数社の「SBT 認定」を取得し、持続可能な未来の実現に向けて社員一丸となって取り組んでいます。



### SBT 認定とは？

科学的根拠に基づいたCO2排出量削減目標を設定する仕組み。  
三静工業は、温室効果ガス削減を通じて、持続可能な社会を目指します。



工場内のEC化

### 三静工業の2030年目標 気温上昇を1.5℃に抑える実行計画

- 主な取組内容
- LED照明化と生産設備のインバータ化
  - 消解保持炉の電化（計4基）
  - 生産管理システム導入で在庫削減
  - 休日の効率的な作業徹底



消解保持炉の電化

### 注目ポイント！

#### 社員一丸となって挑んだ認定プロジェクト - 社員の努力と誇り -

認定取得に向けた取組みは、全社員の協力で進められた。プロジェクトチームのメンバーは、課題に直面しながらも創意工夫を重ね、認定取得のための基準をクリアした。このプロセスを通じて、社員一人ひとりが持続可能性の重要性を実感し、さらに強い使命感を持つようになった。これらの活動により、環境負荷を大幅に軽減！



社員によるSBT研修

#### 向坂政明社長からのメッセージ

SBT 活動は未来への投資です。10年、20年先を視野えた経営戦略の一環として、全社員が一丸となって日々取り組んでいます。全業務にわたる成果を追求していきます。

#### 環境配慮 × 技術革新

地域社会とともに、持続可能な未来を築きます。三静工業のさらなる発展にぜひご注目ください。

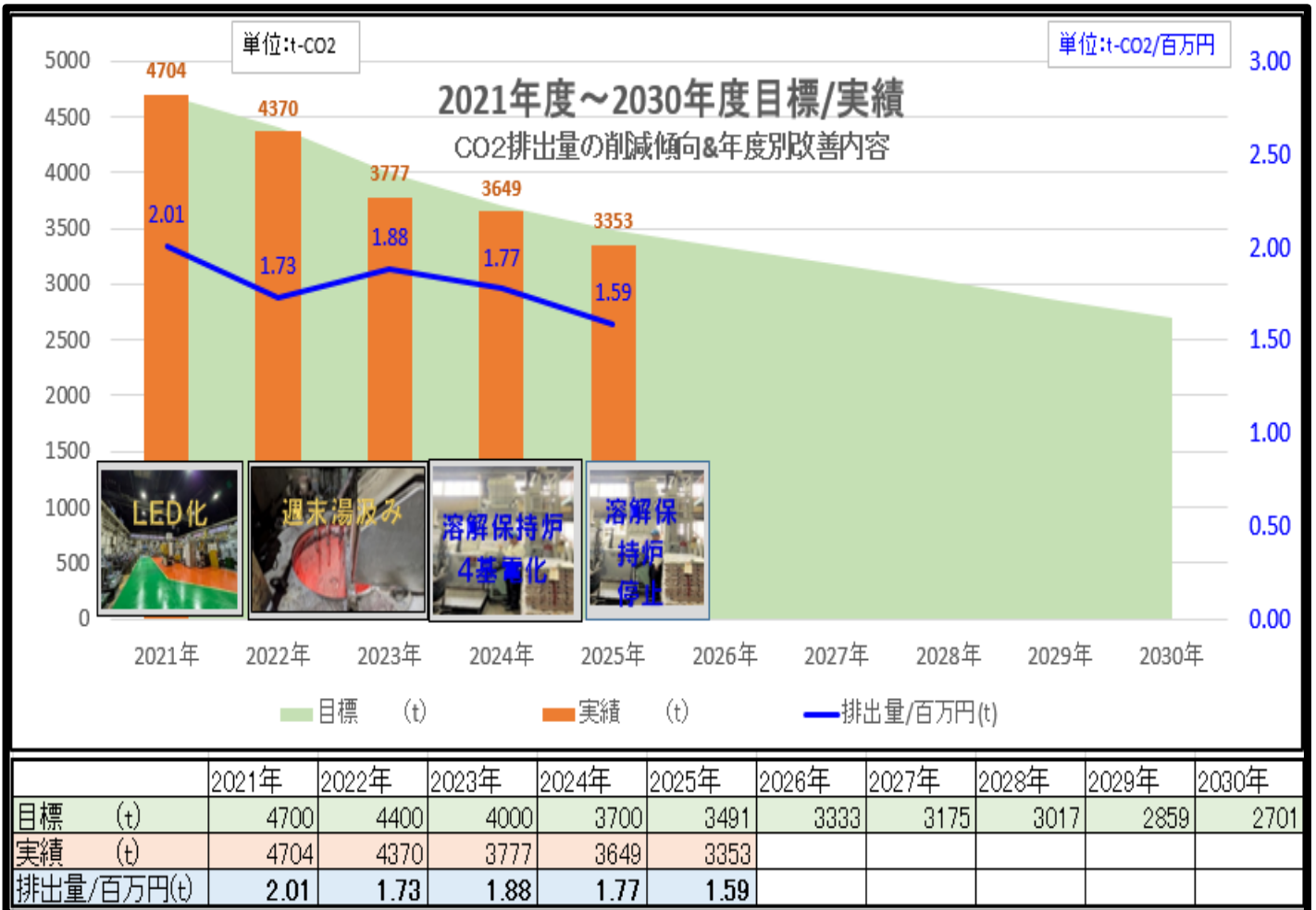
株式会社三静工業 三島市松本181  
代表取締役社長 向坂政明  
<https://sansei-ind.com/company/>



(文：まちづくり課 石渡勝英)

2030年度までのSZ活動を各報道機関に情報展開し、株式会社三静工業が取りくむ活動に対するステークホルダー様へご協力をお願いをいたしました。この活動は、1企業が取り組む活動ではなく、あらゆるステークホルダー様のご理解とご支援により成立する活動であり、今後はCFP(カーボンフットプリント)による製品あたりのCO2排出量を明確にして、更にCO2排出量削減に取り組んでいきます。

# 2021年度から2030年迄の目標実績



2021年度の基準年度から2030年度迄に**2000t-CO2排出量を削減**する活動として、2022年度は334t-CO2の削減となり、売上100万円当たりのCO2排出量も1.73t-CO2でした。

2023年度は593t-CO2の削減となりましたが、売上100万円当たりのCO2排出量は1.88t-CO2と増加しました。この年はダイカストマシン670tの増設がありました。2024年度は128t-CO2排出量の削減となりましたが、溶解保持炉をガス炉から電気炉に更新した事で百万円あたりのCO2排出量は1.77t-CO2と下がりました。更に2025年度は生産計画に基づいた設備停止を積極的に行ったこと、また空焚き対策を実施した事で、CO2排出量は296t-CO2のCO2を削減し、百万円あたりのCO2排出量は**1.59t-CO2**と下がりました。その結果、2021年度から2025年度の**4年間でCO2排出量は1351t-CO2を削減し**、2030年度までに残り649t-CO2の削減となりました。

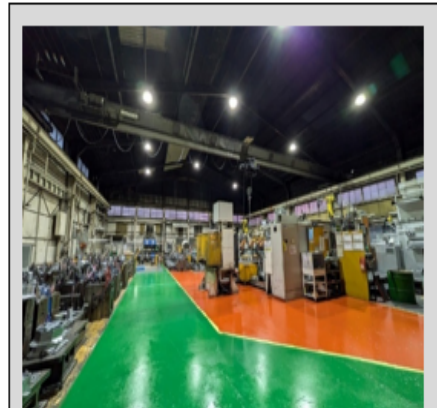
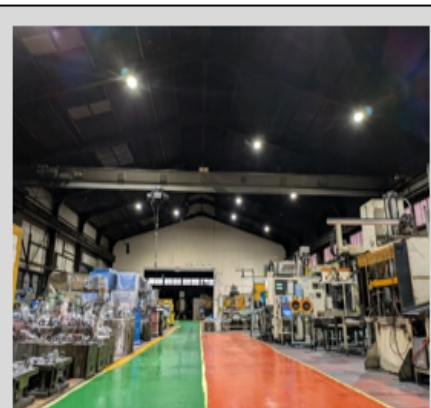
# 2024年度迄の活動と成果①

## 改善事例の紹介 ※水銀灯(41台交換)蛍光灯(2m48本、1m44本)

### 1) LED化

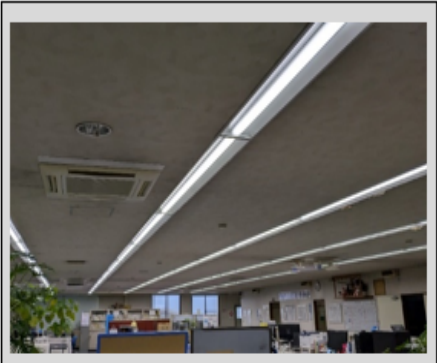
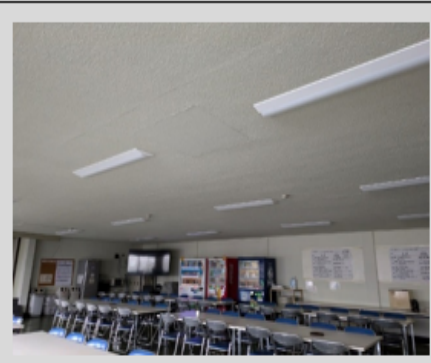
#### 2021年～ 工場内のLED化

電力削減量:46,654KWh/年 CO2排出量削減効果:約23t/年  
原油換算削減効果 :約10.4KL/年



#### 2021年～ 事務所のLED化

電力削減量 : 4,429KWh/年 CO2排出量削減効果 : 約2 t / 年  
原油換算削減効果 : 約0.99KL/年



2021年度の主な取り組みとしては、製造現場にある、水銀灯41台をLED化した結果、CO2排出量削減効果は、年間で約23t、原油換算削減効果は、約10.4KLとなりました。

また、事務所、食堂の蛍光灯のLED化では、2m管48本、1m管44本で、CO2排出量削減効果は、年間で約2t、原油換算削減効果は、約0.99KLとなりました。

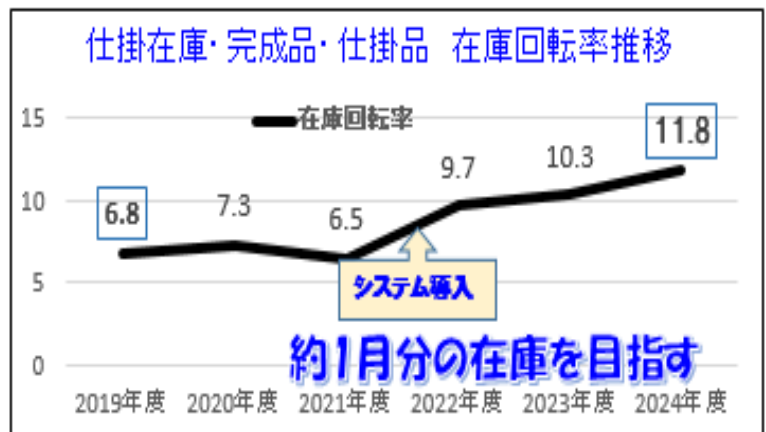
# 2024年度の活動と成果②

## 2) 生産管理システム導入による CO2排出量削減

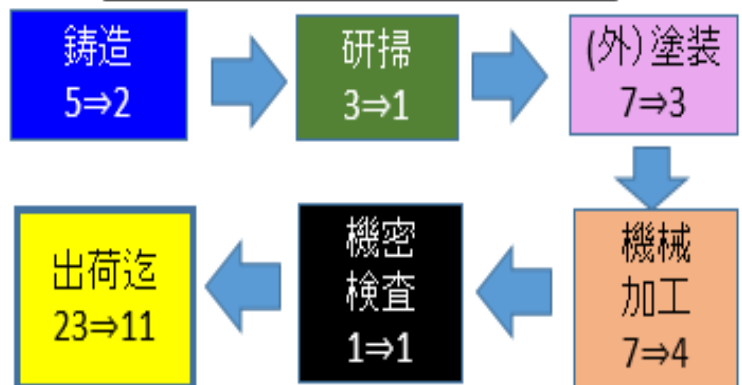
### 2022年 生産管理システムの導入



2024年度末現在:約1ヶ月分在庫となっている



### 各工程リードタイムの短縮化



### 新規生産管理システム導入によるCO2排出量削減 (2022年度)

2022年度は生産管理システム導入により、在庫管理ルールを刷新したことで、在庫回転率の引き上げを図り、金額ベースで、約1ヶ月の保有在庫に近づきました。

また、各工程のリードタイムを再度見直し、工程改善、工程の統合化を推進する事で、工程リードタイムの短縮化を図っています。

# 2024年度迄の活動と成果③

## 週末アルミ汲み出しとガス炉から電気炉への変更

2023年 14基のダイカストマシン  
週末のアルミ汲み出しによる都市ガスの2日間停止  
(88日間)

週末のアルミ汲み出しによる効果  
都市ガス使用量削減効果: 58,168Nm<sup>3</sup>/年  
CO<sub>2</sub>排出量削減効果: 129t/年

**原油換算削減効果: 67KL/年**

ガス炉から電気炉への更新によるCO<sub>2</sub>削減  
2022年(1基)、2023年(1基)、2024年(2基)

溶解保持炉4基の更新による効果  
都市ガス使用量削減効果: 470,363Nm<sup>3</sup>/年  
電力使用量削減効果 : 21,088KWh/年  
CO<sub>2</sub>排出量削減効果 : 1,058t/年

**原油換算削減効果: 550KL/年**



2基の設備は……  
令和5年度省エネルギー投資促進  
支援事業費補助金にて購入



最もエネルギーを消費する、溶解保持炉のCO<sub>2</sub>排出量削減効果としては、2023年度より、休日前の保持炉の溶湯を汲み出し、都市ガスを年間で、88日完全に停止する事で、原油換算削減効果として、67KL削減できました。

また、2022年～2024年の3年間で、溶解保持炉の都市ガスを、電力に転換する事で、原油換算削減効果として、550KL削減できました。この4基の溶解保持炉の内、2024年度に更新した、溶解保持炉は「令和5年度 省エネルギー投資促進支援事業費補助金申請」にて、購入することが出来ました。

# 2024年度迄の活動と成果④

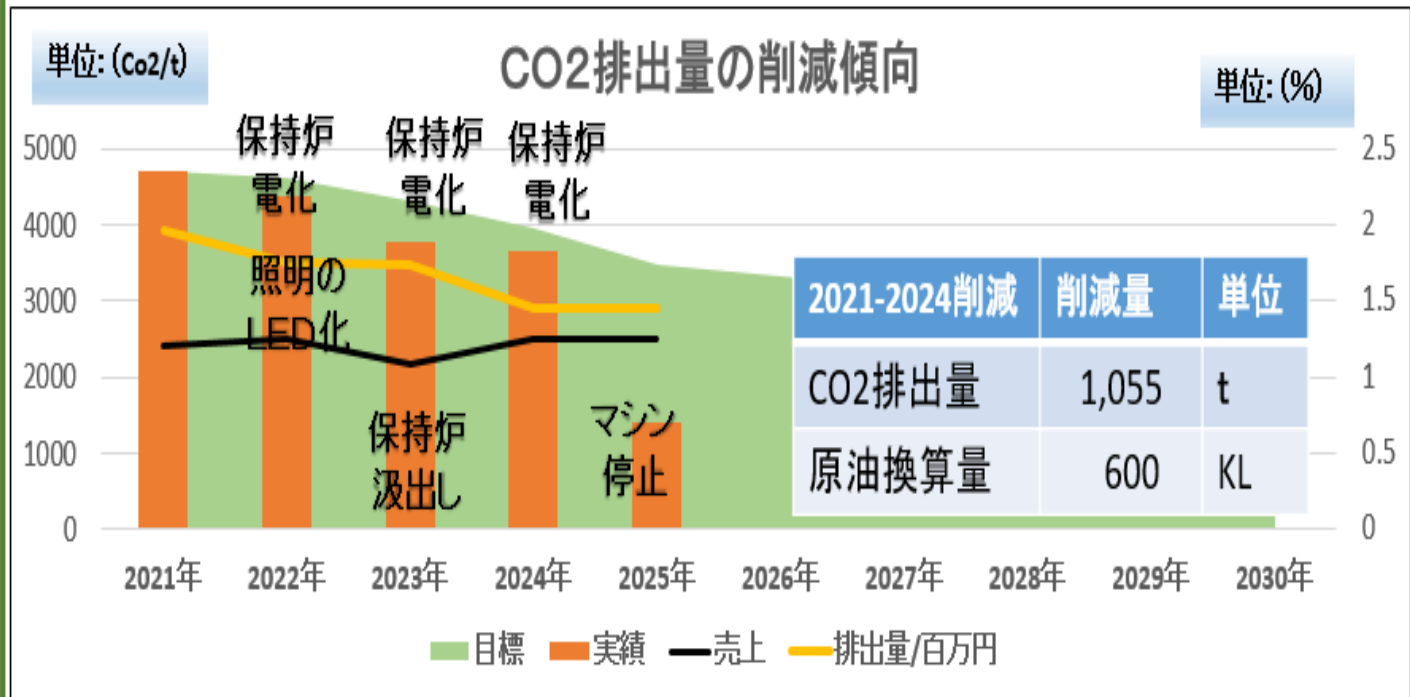
## 研修会風景写真



2024年12月、SZ活動を更に社員の皆様に理解して頂くため、中小機構アドバイザー高鹿様による研修会を開催しました。  
 この研修会は全社員を対象とし、**カードゲームで遊び心を少し取り入れながら**、銀行、発電所、アパレル、食品企業、製造会社など**12の模擬企業に分かれ**、カーボンニュートラルを目標に各グループの成果をボードに掲示しながら競争します。  
 最終的にCO2排出量削減量の多いグループの1位2位3位に景品が贈られ、研修会は和やかに行われました。

# 2024年度迄の活動と成果⑤

## 2024年度までの活動目標と実績内容



## お客様・中小機構様への最終報告

ハンズオン支援活動

### カーボンニュートラルPJ活動 最終報告会

日付2024年12月24日

会社名：株式会社 三静工業



2021年度～2024年度の活動成果として、CO2排出量削減1055t、**原油換算量600KLの削減効果**となりました。  
この成果については、2024年12月に報告会を開催して、ご支援いただきました、**お客様と中小機構様にご報告**させていただきました。

# 2025年度の活動と成果①

2025年度CO2排出量削減効果として296t-CO2/年  
 原油換算削減効果として約119KL/年



空焚き 削減効果早見表					製造部	今井		
マシン	1㎡使用時間 (秒)	1時間のガス使用量 (㎡)	1時間空焚き金額	CO2排出量 (kg)	原油換算 (ℓ)	計算の基礎		
63号機	1 ㎡ = 200秒	18㎡	3564円	40.14	20.898	CO2排出量 (kg)	原油 ℓ	
						$18 \times 0.00223 \times 1000$	$18 \times 45 \times 0.0000258 \times 1000$	
64号機	1 ㎡ = 159秒	22.6㎡ = 23㎡	4554円	51.29	26.703	CO2排出量 (kg)	原油 ℓ	
						$23 \times 0.00223 \times 1000$	$23 \times 45 \times 0.0000258 \times 1000$	
69号機	1 ㎡ = 200秒	18㎡	3564円	40.14	20.898	CO2排出量 (kg)	原油 ℓ	
						$18 \times 0.00223 \times 1000$	$18 \times 45 \times 0.0000258 \times 1000$	
70号機	1 ㎡ = 292秒	12.3㎡ = 13㎡	2574円	28.99	15.093	CO2排出量 (kg)	原油 ℓ	
						$13 \times 0.00223 \times 1000$	$13 \times 45 \times 0.0000258 \times 1000$	
72号機	1 ㎡ = 129秒	27.9㎡ = 28㎡	5544円	62.44	32.508	CO2排出量 (kg)	原油 ℓ	
						$28 \times 0.00223 \times 1000$	$28 \times 45 \times 0.0000258 \times 1000$	

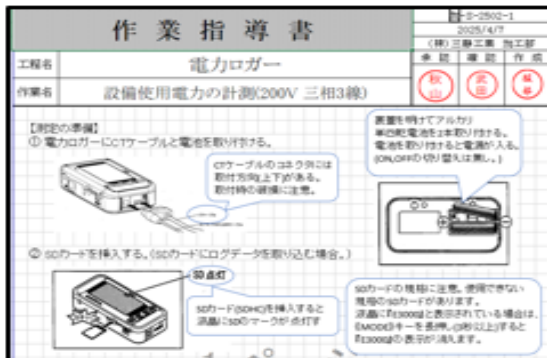
2025年の主な活動は 連休前、週末前の湯汲み出しの継続実施により、ダイカストマシン及び溶解保持炉の電力・ガスの完全停止が実現できました。真夏の工場内、特に炉の周辺温度は50℃を越える環境下でしたが、製造部は継続する力を止める事無く実施しました。また2024年度の課題となっていた『空焚き問題』についても空焚き 削減効果早見表を作成掲示し、作業者へ周知徹底しました。また生産計画に基づく、設備稼働停止の指示徹底を行うことで、大きなCO2排出量削減効果を実現しました。



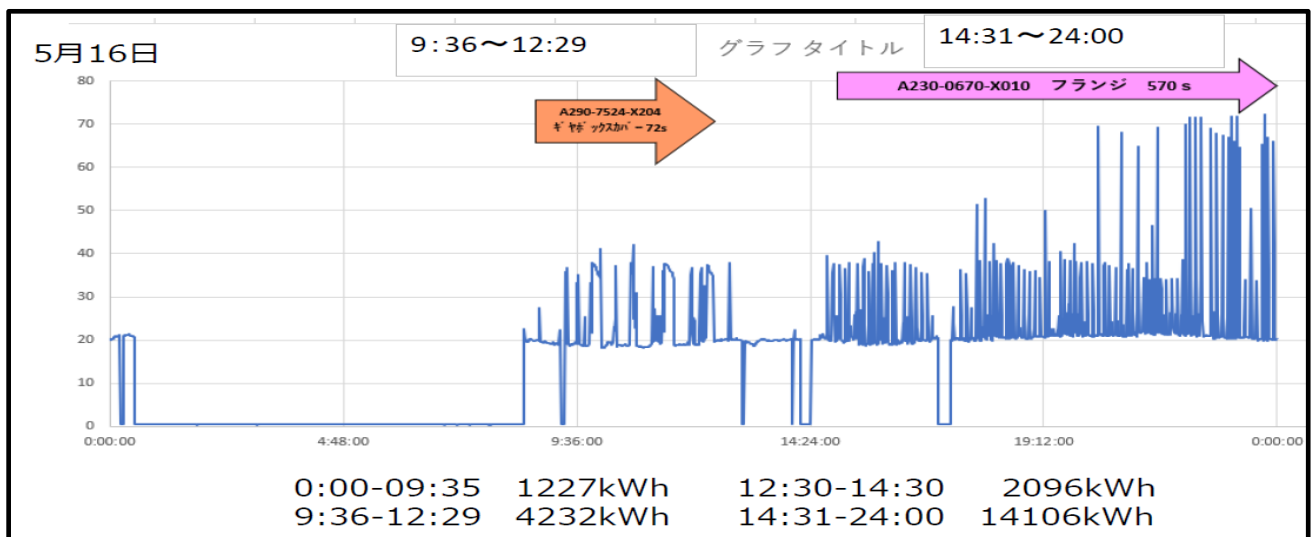
# 2025年度の活動と成果③

## 1) 電力ロガーによる計測

誰もが電力ロガーの使用をできる様、マニュアルを作成し、事務部門、本社工場・アルミ工場・函南工場にて課題と目的を決めて計測を開始する。



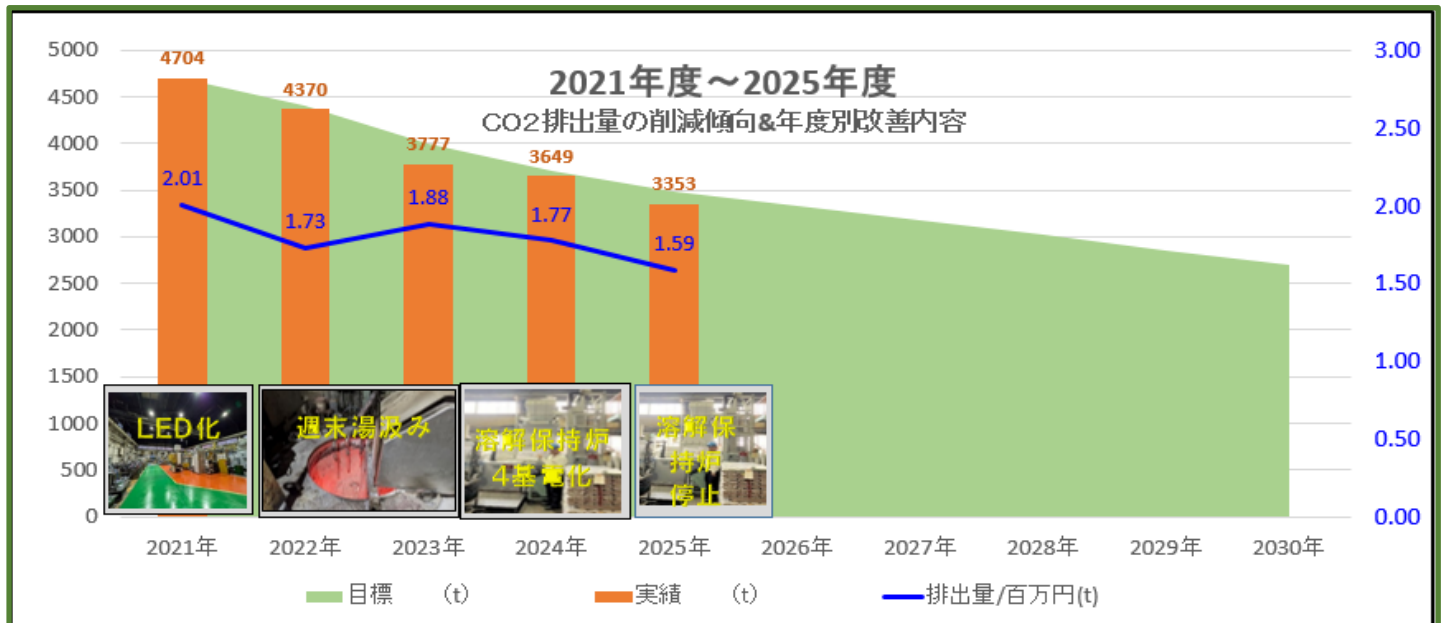
## 2) 様々な状況で製品別、設備別、時間ごとの変化をデータドリブンで観察する。



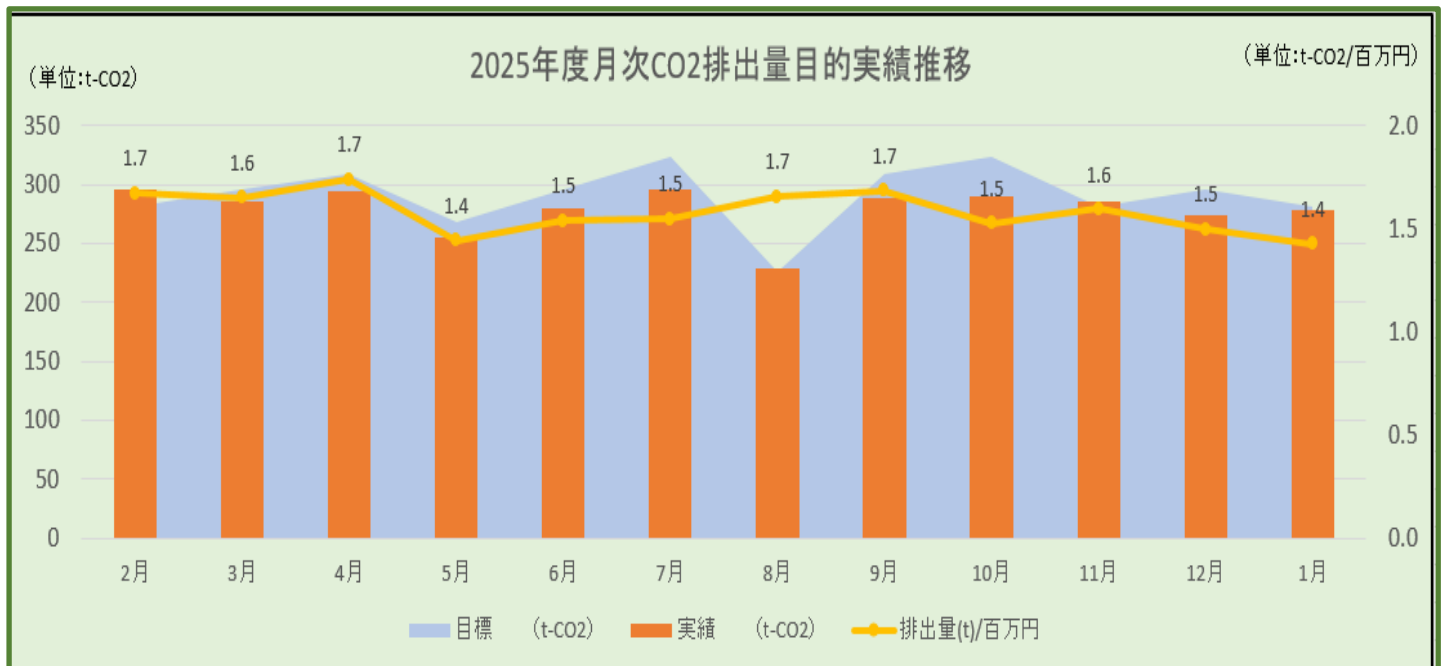
電力ロガーを購入し、各工場にて計測を開始しました。誰でも使用できることを目指して、電力ロガー作業の手順を作成し、各部門にて周知徹底しました。

計測目的としては、同一製品生産における1直、2直での電力消費の可視化、同一製品での新旧設備での計測を行い、データドリブンでの評価を行うと、大きな乖離が発生している事に気付き、作業者の意識が大きく変化して行きました。

# 2025年度の活動と成果④



	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
目標 (t)	4700	4400	4000	3700	3491	3333	3175	3017	2859	2701
実績 (t)	4704	4370	3777	3649	3353					
排出量/百万円(t)	2.01	1.73	1.88	1.77	1.59					



2025年度	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
目標 (t-CO2)	281.5	295.6	309.6	267.5	295.6	323.8	225.2	309.6	323.7	281.5	295.6	281.5
実績 (t-CO2)	296.4	285.3	294.6	255.1	279.8	296.1	229.5	288.4	289.8	286.3	273.6	278
排出量(t)/百万円	1.7	1.6	1.7	1.4	1.5	1.5	1.7	1.7	1.5	1.6	1.5	1.4

2025年度の売上百万円あたりのCO2排出量は1.59tでした。2021年度の2.01tに対して**0.42tの削減効果**となっていました。

# 2025年度の活動と成果⑤

(3) 2026年(令和8年)1月30日

## ダイカスト新聞

2025年12月16日  
株式会社三静工業

報道関係各位



カーボンニュートラルへの取組み  
**株式会社三静工業 中小企業庁長官賞 受賞**  
テーマ：目指せ！全員参加のカーボンニュートラル

アルミダイカスト部品の製造・販売を行っている株式会社三静工業（静岡県三島市、社長：向坂政明）は、一般財団法人省エネルギーセンターが主催する2025年度省エネ大賞※1の省エネ事例部門において、「**中小企業庁長官賞**」を受賞しました。1月28日に東京ビックサイトにて表彰式が行われます。

### 株式会社三静工業の取組みと受賞までの経緯

三静工業は1966年に設立されたダイカストメーカーで、設計から鋳造、加工までを一貫して行っております。エネルギーを多く使うアルミダイカストの製造において、環境に配慮した活動を続けてきました。1986年から特殊ダイカスト（HVSC）技術を導入し、鉄铸件からアルミダイカストに置き換えることで、素材の軽量化やCO2排出量削減に着目してきました。2022年には最新鋭の省エネ型サーボモーター制御のHVSCダイカストマシンを導入し、さらなる高品質・短納期化を実現しています。

今回、地球温暖化対策として中小企業SBTの認定を受け、2021年を基準年として2030年までに2000トンのCO2排出量削減を目指しています。

今回の取組みは、SZP(SANSEI ZERO Project)を組織し、全社員参加のSZ活動を開始し、2021年から2024年の活動（例：全社LED化、湯汲みによる溶解保持炉ガス停止促進、溶解保持炉のエネルギー転換等）を実施し、3年間でCO2排出量1,055トン、原油換算削減量600KLの削減に成功、2025年度も継続して目標を達成しております。この活動を報告する機会を頂き、今回の受賞となりました。この場をお借りしまして、ご支援いただきましたお取引先様を始め、全てのステイクホルダーの皆様へ厚く御礼申し上げます。

三静工業では温室効果ガスの削減目標達成に向け、将来的には水素をはじめとする新技術の導入の検討を行うとともに、取引先へのCO2排出量削減の提案、協力会社との技術協力と地域のカーボンニュートラルへの取組みなど、脱炭素社会への移行に積極的に貢献してまいります。

※1：省エネ大賞とは、優れた省エネの取組みを表彰する制度です。



### 【会社概要】

社名：株式会社三静工業  
本社所在地：静岡県三島市松本181  
代表取締役社長：向坂政明  
設立：1966年2月  
HP：<https://sansei-ind.com/>



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社三静工業 担当：廣田 TEL：会社 055-977-2054 MAIL：[takeda@sansei-ind.com](mailto:takeda@sansei-ind.com)

### 三静工業

## 省エネ、脱炭素の活動を評価 中小企業庁長官賞を受賞

### 中小企業の模範モデルに

ダイカストメーカー、三静工業（静岡県三島市、向坂政明社長）は省エネルギーセンター主催の2025年度「省エネ大賞」で中小企業庁長官賞を受賞した。同社の受賞テーマは「目指せ！全員参加のカーボンニュートラル」で、中小企業SBT認定を取得した取り組みになる。同社は独自のカーボンニュートラル推進

「脱炭素推進の参考となる事例」として今回受賞した。表彰式は同センター主催の「ENERGY2026」第50回地球環境とエネルギーの調和展」の開催初日となる1月28日に行われた。同社ではCO<sub>2</sub>排出量の

見える化と削減計画を策定し、SCOPE1・SCOPE2別に排出量を算定し、2030年までの削減目標と行動計画を設定した。設備面ではCO<sub>2</sub>排出の多い溶解保持炉2台を都市ガスから電気へ転換し、熱効率向上と排出削減を実現。さらに全社員向け教育を通じて意識改革と現場での省エネ運用を促進。その

結果、基準年2021年比で1055トン（原油換算600kL）超のCO<sub>2</sub>削減を達成（3年間の実績）した。同社の従業員数は86人で、ダイカストマシンは6000〜12000台まで計10台、製品分野は産業機械、自動車、油圧機器、農機具等。なお、「省エネ大賞」は国内の企業・自治体・教育機関等に対して優れた省エネ推進の事例や、省エネ性に優れた製品並びにグリーンモデルを「省エネ大賞」として毎年表彰している。2025年度は前年度と同程度の約1200件の応募があり、省エネ事例部門は不

金型ダウン  
サイズも注力  
金型製作においても省エネ対応として2つの柱として、①金型設計での金型のダウンサイジングを推進し、より小型のダイカストマシンで鋳造、②設計時におけるDR1〜DR3をスムーズに対応し、量産までのトライアル回数削減、に

取組んでいる。部門では33件の受賞を法定した。

2025年6月：一般財団法人省エネルギーセンター主催、経済産業省後援の省エネ大賞へ1次募集を行いました。

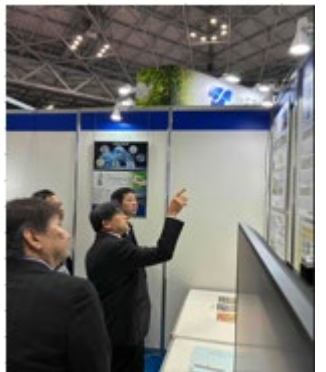
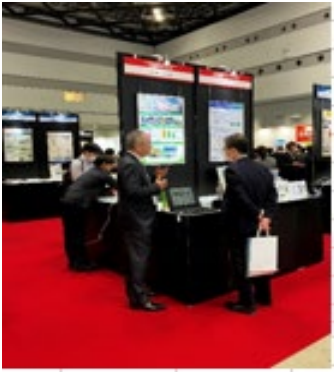
2025年8月：1次選考を通過しました。

2025年9月：名古屋公会堂にてテーマ「目指せ！全員参加のカーボンニュートラル」を発表しました。

2025年10月：現地調査及び質疑応答が行われました。

2025年12月：省エネ大賞事務局より「中小企業庁長官賞」受賞の一報が入りました。

# 2025年度の活動と成果⑥



2026年1月28日、東京ビックサイトレセプションホールAで省エネ大賞「中小企業長官賞」の授賞式が行われました。  
同日、中小企業基盤機構様のプレゼにて弊社SZ活動について説明しました。  
2026年1月29日には経済産業大臣政務官 越智俊之様が弊社ブースに来場いただき、SZ活動の取組みを報告しました。

# 2050年のカーボンニュートラルを目指して

## 未来を創造するダイカスト製品とカーボンニュートラル



夢をかたちに  
ダイカストの未来を創造する3つの取り組み

1

新エネルギー開発  
への取り組み

2

半導体製造  
への取り組み

3

未来の製品  
への取り組み

2050年のカーボンニュートラルを目指すため、ダイカストの未来を創造する3つをベースに、エネルギー転換、グリーンアルミ材使用、設備のトップランナー化だけでなく、SZ活動を推進するスタッフひとりひとりの創意工夫を屈指した**持続可能なカーボンニュートラルを目指し**、更に革新的なSZ活動に、『**全員参加でAll Challenge**』して行きます。

未来のダイカスト技術を創造し  
大切なお客様と共に歩む



株式会社 三静工業

<https://sansei-ind.com>

